

外科学会に市民も親しんで

名古屋で 5月 柔道の山下氏招き講演も

日本外科学会(会長・二村雄次名古屋大器官調節外科学教授)が五月十一 - 十三日、名古屋市熱田区熱田西町の名古屋国際会議場で開かれる。愛・地球博(愛知万博)開催にちなみ、市民にも学会に親しんでもらおうと、特別講演会を開催。ポルトガルで撮影された、世界初の人の動脈造影写真を国内で初公開するイベントもある。別会場で「市民公開講座」も企画されている。

学会と同時開催の招待講演では、五輪柔道金メダリストの山下泰裕氏が「国際化時代での柔道の果たす役割」について話すほか、「人工臓器」「外科専門医制度」「麻酔医不足に外科医はどう対応するべきか」「医療と法整備」などをテーマに専門医らが講演。展示企画「名古屋大第一外科の歩み」も。

「市民公開講座」は十三日午後六時半、名古屋市民会館(中区金山)である。「がん手術」「不明熱」などを題材にNPO代表や会社役員、医療関係者五人が講演する。